

【R8 垂見小学校 学校経営ビジョン】

学校教育目標

「郷土を愛し、共に学び、心豊かでたくましく未来を生き抜く子どもの育成」

【めざす学校像】

- 明るい挨拶が響き合い、つながり、自分らしく主体的に、諦めないで学び続ける学校
- 目標に向かって実践→評価→改善のサイクルが機能し、みんなが成長を実感できる学校
- 安全・安心な教育環境が整い、保護者、地域とつながり、感謝の思いを持ち、信頼関係を築く学校

【めざす児童像】

授業
場面

〈導入〉

- 【低】教師と一緒にめあて
- 【中】キーワードでめあて・見通し
- 【高】自分の課題からめあて・見通し

〈展開〉

進んで考えを出す

考えを比べる

付加・修正・強化→再構成

〈終末〉振り返る

自分や友だちのよさ・振①

課題からまとめ・振②

自分でまとめ・次の課題・振③

生活
場面

〈学級会〉

- 【低】考えを伝え最後まで聴く気持ちをきちんと伝える
- 【中】考えを比べ折り合い
- 【高】自ら課題発見とよりよい考え

〈友達との関わり〉

- ・他者の気持ち・友達のよさ
- ・全体で高め合い学級
- ・違いを認め・補い合う

〈役割を果たす〉

- ・当番や係活動（最後まで）
- ・仕事の工夫（責任を持って）
- ・学校・地域のよさ（リーダーとしての自覚）

【めざす教師像】

- 子どもに学び、よさや伸びを見つけ、認め、安心と自信を持たせる学級経営を推進する使命感と熱意ある教師

『児童理解』

- 日常授業力（教育課程経営力）の向上をめざし、謙虚に学び続ける教師

『自己研鑽』

- リーダーシップとメンバーシップを発揮し、組織的な職務遂行に努める教師

『協働力』

- 教師として自他のウェルビーイングを尊重する教師（教師としての魅力・やりがい）

『幸せ』

【教育課題】

- 主体性（目標や計画を決めて自己調整しながらやり抜く力）
- 確かな学力の育成
 - ・主体的に学習したり、取り組んだりする態度
 - ・思考力、判断力、表現力の育成（自ら課題発見し自分で考え、挑戦〈自分で・友達と〉し、学び合う）
 - ・CD層の底上げ
- 人間関係力の向上（※いじめ防止につなげるために）
 - ・自分や友達の良さを認め合い、高め合う態度
 - ・（困っている）相手に進んで働きかける態度
 - ・友達関係に満足し、自己肯定感を味わう姿
- 健康・体力の向上
 - ・体育授業や体育的行事による運動量確保と能力向上
 - ・基本的生活習慣とSNSや薬物乱用防止等の意識向上

【経営課題】

- 【情熱】教室や学校、地域のウェルビーイングを求めて学級経営力を高め、やりがいを味わう。
- 【授業力】キャリアステージに応じた教育課程経営力（TM・CM）の向上と授業改善
□活用させる授業づくり□関係づくりと話し合い
- 【協働力】経営参画意識の高揚と主体的に改善を提案するマネジメント力
- 【地域連携】保護者・地域とともに重点目標達成等の課題解決へ向けCSと地域学校協働活動を一体的に推進する学校

【中期目標】（R7～R9）「目標に挑戦し続け、『幸せ』を感じる子供」

R7:自分で考え、進んで挑戦する子ども R8:めあてに向かって、粘り強く挑戦する子ども R9:目標に挑戦し続け、自己肯定感を味わう子ども

【重点目標】めあてに向かって、粘り強く挑戦する子ども

- 1 自分で、めあてをつくることのできる子ども…80%
- 2 自分のめあてに向かって、あきらめず、最後まで取り組むことのできる子ども…70%
- 3 学級や学校・地域のために何かできないかと考えことのできる子ども…70%
- 4 自分の得意なこと・できるようになったことを話すことのできる子ども…70%

経営の重点

個別最適な学び・協働的な学びの実現

安心して発言行動できる学級集団づくり

【特色ある学校の具現化へ向けて】

- 主体的な学習者として課題に向き合い、今までの学びから「めあてを自己決定」し、自分や友だちとの学びの中で新たな疑問や課題を共有し、出し合う活動を単位時間や単元で、自分や友だちの学びを振り返りながら、主体性と思考・表現力を高めることができるようにする。【ティーチングマネジメント・カリキュラムマネジメント】
- ICT（タブレットや電子黒板、インターネット等）を活用しながら、学び合いに活かしたり、個別最適な学び・協働的な学びにつなげたりして学習意欲や学力向上に役立てる。【ICT活用】
- 教室は子どもが安心できる居場所として最も重要であることを認識し、学級目標づくりを含めた『安心して自分らしく表現できる集団づくり』を「話し合い活動」と「関係づくり」、学活(1)を中心に行う。また子供たちを脅かす「いじめ」の未然防止・早期対応・保護者対応を組織的・日常的に行う。【学級経営】
- 主題研究は「重点授業研究」を講師による価値づけ・方向性を行うとともに、日常的な授業づくりを進める研修の時間として位置づけ、「組織的・日常的」な授業づくりをする。中堅教員研修を活かし、若年教員と研修・授業づくりのめざす具体的教師像として位置づけ、全体の授業力向上をめざす。「授業づくり」と「仲間づくり」（重点目標達成委員会）を観点に、全体で協議するようにする。仲間づくりでは、学級の問題解決を中心に扱う。地域へのかかわりなど、児童会活動を中心に子ども主体の企画・運営を行う。【指導体制・組織運営】

